



共につくる



私たちの未来

SDGsから「持続可能な社会の創り手」への一歩を



JICA 地球ひろば

SDGs でつながる 世界



AI(人工知能)をはじめとする技術革新、グローバル化、環境問題といった地球規模の課題など、未来を生きる子どもたちにはさまざまなチャレンジが待っています。そのような中、よりよい未来を築くためにできた目標がSDGs(持続可能な開発目標)です。

新学習指導要領にもある「持続可能な社会の創り手」として、さまざまな課題に向き合い、大きく変化する社会の中で多様な人々と共に未来を切り拓いていくために、子どもたちに求められる力とは何か。

この冊子では、未来の主役である子どもたちの学びを深め、生きる力を育む一助となることを願い、毎日新聞社の協力を得て、JICAの国際協力を切り口にSDGsの取り組みをまとめました。

冊子のPDFはこちら

JICA 共につくる私たちの未来

検索



この冊子は2017年4月から2018年9月まで毎日小学生新聞に連載した記事をもとに作成しています。現地レポートは掲載当時の内容です。

この冊子に掲載している地図等は、領土、国境等に関するJICAとしての公的な見解を示すものではありません。

もくじ

私たちの住む世界って?.....	3
SDGs って?.....	4
はじめる! ジブンゴト.....	5
 1 貧乏をなくそう.....	6・7
ホンジュラス	
 2 飢餓をゼロに.....	8・9
セネガル	
 3 すべての人に健康と福祉を.....	10・11
キリバス・フィジー	
 4 質の高い教育をみんなに.....	12・13
ラオス	
 5 ジェンダー平等を実現しよう.....	14・15
カンボジア	
 6 安全な水とトイレを世界中に.....	16・17
ミャンマー	
 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに.....	18・19
フィジー・大洋州	
 8 働きがいも 経済成長も.....	20・21
チュニジア	
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう.....	22・23
インド	
 10 人や国の不平等をなくそう.....	24・25
ウガンダ	
 11 住み続けられるまちづくりを.....	26・27
ブラジル	
 12 つくる責任 つかう責任.....	28・29
キルギス	
 13 気候変動に具体的な対策を.....	30・31
コロンビア	
 14 海の豊かさを守ろう.....	32・33
モロッコ	
 15 陸の豊かさを守ろう.....	34・35
エチオピア	
 16 平和と公正をすべての人に.....	36・37
フィリピン	
 17 パートナリシップで目標を達成しよう.....	38・39
ルワンダ	
 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年に向けて 持続可能な開発目標(SDGs)を達成しよう	ワーク 世界とつながる 私のアクション.....40・41
ガーナ	
見てみよう.....	42
SDGsの`成績表、2018年 役立つwebサイト	
JICA って?.....	43
学校で活用できる JICA の教育支援プログラム.....	44・45
切って使える SDGs アイテム.....	46・47

私たちの住む世界って？

世界の開発途上国

出典: DAC「政府開発援助(ODA)受け取り国・地域リスト(2018~2020年)」をもとに作成

用語チェック

サブサハラ
サハラ砂漠より南の地域

サハラ砂漠

赤道

開発途上国
後発開発途上国

用語チェック

**先進国と
開発途上国**

先進国：高度な工業化が進み、技術水準や生活水準の高い、経済発展が大きく進んだ国
開発途上国：経済発展や開発の水準が先進国に比べて低く、経済成長の途中にある国
後発開発途上国：開発途上国の中でも、特に開発が遅れている国

開発途上国といっ
ても、急成長して
いる国もあって、
幅があるんだね

世界の大きさ

総人口	約77億5300万人(世界銀行、2020年)
国の数	196 (外務省、2020年3月)
地球の円周	4万km
地球の面積	約5億1000万km ² ※1
陸地面積	約1億5000万km ² ※1
海洋面積	約3億6000万km ² ※1

(※1)理科年表2019

約150か国、世界の8割
以上の人が開発途上
国に暮らしているよ



日本の大きさ

総人口	約1億2622万人 (総務省、2021年6月)
面積	約37万8000km ² (外務省、2021年)

構成と使い方

各ページは「SDGs」と「日本の国際協力の現場レポート」の2部構成になっています。

SDGs

- 各ゴールの解説
- 関連データやイラスト
- アクションを起こす「きっかけ」になる質問

SDGsの最初の一步は、
みんなで話し
合うことから



日本の国際協力の現場レポート

持続可能な世界を創るための取り組みを知ろう。
※各国のデータは外務省webサイトなどをもとに作成

活動レポートを読んで、関連している
ゴールにチェックを入れよう。

インタビューのフルバージョン
とJICA海外協力隊員のコラム
がPDFで読めます。

世界の友達
JICA海外協力隊員らが現地の
子どもたちにインタビュー。他の国
の子どもたちはどんなことを考
えているかな？ 自分も同じ質
問に答えて「同じ／違う」を深
めてみよう。





SDGsって?

世界の未来を変えるための17目標

2030年に向けた世界の約束

あらゆる人が協力

世界には貧困や格差、地球温暖化など、私たち一人一人が協力しないと解決できない課題がたくさんあります。

2015年9月、アメリカのニューヨークにある国連本部で「国連持続可能な開発サミット」が開かれ、193の国連加盟国によって「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。

このアジェンダでは「誰一人取り残さない—No one will be left behind」という理想を掲げ、2030年までに貧困を撲滅し、持続可能な社会を実現するため、17のゴール(目標)が設定されました。

この17の目標がSDGsです。SDGsは Sustainable Development Goals の頭文字で、日本語では「持続可能な開発目標」と言います。

2030年は現在の子供たちが主役の時代です。そのとき世界はどんな未来を迎えているのでしょうか。



2015年9月に国連本部で開かれた「持続可能な開発サミット」
© UN Photo/Loey Felipe



チェック!

169のターゲット

SDGsの各ゴールには、具体的な目標を示した「ターゲット」が全部で169あります。ゴールごとの“ねらい”がわかります。

グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン「各目標はこちら」のアイコンから各ゴールのターゲットが見られます



先進国も、途上国も

SDGs はすべての国や地域の人たちが取り組むための目標です。先進国の人たちのモノや資源を浪費する暮らし方が、途上国の人たちの生活にさまざまな問題を引き起こし、環境問題は国境を越えて地球規模で影響を及ぼしています。先進国も、途上国も、等しくSDGs達成に向けた取り組みを進めていくことが不可欠です。

さまざまな立場、一人一人のつながり

SDGsの達成には、政府ばかりではなく、企業やNGO(非政府組織)・NPO(非営利組織)、農業などの生産者といった、さまざまな立場の人たちがつながりあって、取り組むことが求められます。

ゴール同士が互いに関連

貧困、環境破壊など一見別々の課題のように見えますが、実際は複雑に関連合っています。異常気象が農業や漁業に大きな影響を与え、食料不足を引き起こす。十分な教育を受けられず、貧困から抜け出せない。そして、終わらない紛争がこれまで築いてきたものを破壊し、負の連鎖を生んでいます。一つの課題に取り組むことが、多くの課題の解決につながっています。



はじめる! ジブンゴト

学校での取り組み

SDGsをレンズとして

東京都八王子市立上壱分方小学校
栢之間 倫太郎先生

SDGsは①児童の視点を定めるため、②児童の視野を広げるためのツールとして有効だと考えています。

例えば日本の選挙の始まりを学んだとき、児童がSDGsのゴールの一つ「ジェンダー平等を実現しよう」が達成されていないと発言しました。それをきっかけに視点を定めると、世界の選挙の調べ学習に発展し、最終的には今の教室でのジェンダー平等まで思考をつなげることができました。また、SDGsの17のゴールを切り口にするので、一つのものごとの原因や影響を多角的な視点から考えることもできると思います。



SDGsをレンズにして、様々な角度から震災について考える児童たち

授業レポート



印刷して切って使える
SDGsカード

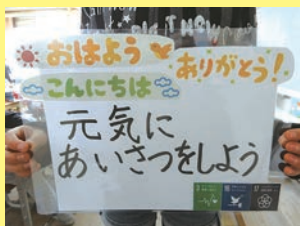


SDGsのロゴと一緒に、自分たちの目標を広めるための掲示物にしました



学校生活で 心がけること

SDGs関連項目



自分たちの SDGsを作ろう

京都府京都市立百々小学校
松本 清代先生

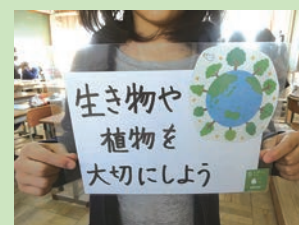
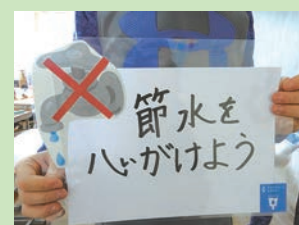


世界と日本とのつながりを学んだ後、SDGsをジブンゴトとしてとらえ、身近なところから行動できるよう、学年全体で「百々小学校SDGs17項目」に取り組みました。ともすれば他人事になりがちなSDGsを地域や学校という自分に身近なことから結び付け、自分たちにできそうなことを具体的に見つけ、選ぶという活動です。活動後は、自分たちで作ったこの目標に向かって取り組んだり、広めたりしています。

授業レポート



環境のために できること





あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ

あらゆる場所で

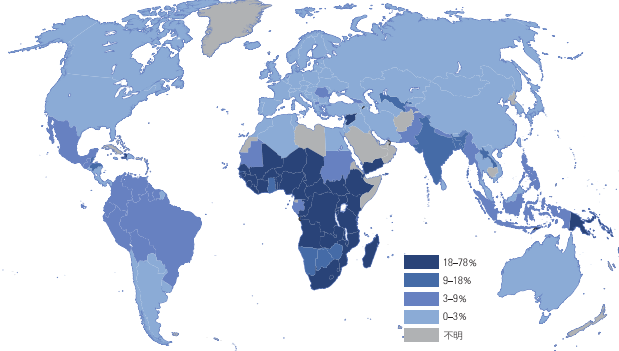
ゴール1の目標の一つは、2030年までに「極度の貧困」を世界のあらゆる場所で終わらせること。極度の貧困とは、世界銀行が定めた「貧困ライン」＝1日1.9ドル（約200円）＝未満の暮らしを指し、2021年現在、世界の6人に1人が極度の貧困下にあります。

ほかにも、生きていくために必要な食べ物や水が手に入らない、住む所や仕事がない、教育や医療などの必要なサービスを受けられない——など、お金に換算できないさまざまな形の貧困を終わらせることを目指します。

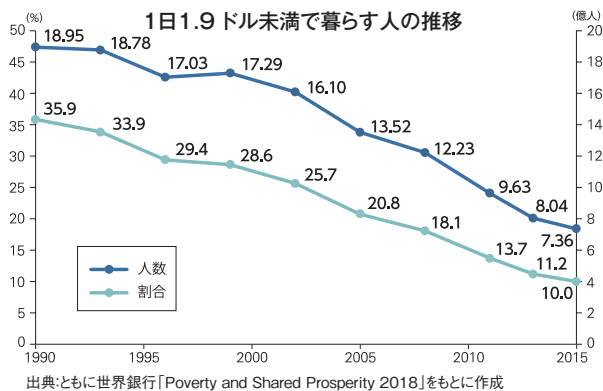
社会的に弱い立場の人々をはじめ、誰一人も残さず、貧困から抜け出すために、私たちに今どんなことができるでしょうか。

世界の貧困状況 (2015年)

極度の貧困で暮らす人が多い国・少ない国



世界は少しずつ良くなっている!



調べてみよう、考えてみよう

Q1 なぜ貧困は生まれるのだろう。
貧困の背景 **原因** **経緯**

Q2 貧困がない社会をつくるために、日本ではどんな取り組みがされているかな。
 (例えば、政府、みんなの住んでいる市町村、) **NGOの取り組みを調べてみよう。**

家計簿から始める 貧困脱出計画

2017年12月10日現在

ホンジュラスは中南米の中でも貧しい国のひとつで、国民のおよそ5人に1人が1日1.9ドル未満で暮らしています。経済的な理由で小学校に通えない子も多く、保健・医療サービスが不十分であることから、5歳未満で命を落とす確率は、日本の約7倍にも上ります。さらに、麻薬組織の活動による治安の悪化やハリケーンなどの自然災害が国の発展を妨げています。このように多くの課題を抱えているホンジュラスにも、日本と同じように特に貧しい家庭に対してお金を支給する支援制度があります。では、お金を渡せば貧しい家庭は無くなるのでしょうか?

貯金なんてしたことない!?

皆さんはおこづかいやお年玉を貯金していますか? ホンジュラスで貧しい生活をしている人たちの多くは貯金なんてしたことがありません。せっかくお金を受け取っても、無駄づかいてしまう人も少なくありません。みんなに貯金する習慣を身につけてもらうために、私たちは家計簿のつけ方を教えています。家計簿をつければ、何にいくらのお金を使ったかが分かり、無駄づかいを減らすことができます。家計簿をつけて、自分がコーラやお菓子にたくさんのお金を使っていたことを知り、びっくりする人もいます。また、1か月後や1年後に必要なお金に



家計簿のつけ方をみんなで練習しています



ホンジュラス



- 国名 ホンジュラス共和国
- 面積 11万2490km²(日本の約3分の1弱)
- 人口 927万人(2017年、世界銀行)
- 首都 テグシガルパ
- 民族 メスティン
(先住民とヨーロッパ系の混血)91%
- 言語 スペイン語
- 宗教 キリスト教(カトリック94%)
- 時差 15時間(日本が進んでいる)



ブルベリアと呼ばれる小さな雑貨店を営む女性。はじめは商品の種類も限られていましたが、売り上げを元手に業務用の冷凍庫やばかりを購入し、肉などの食材も取り扱えるようになりました

ついて考えることで、貯金の目標や計画を立てることもできます。

収入を増やすために

無駄づかいを減らして、少しずつ貯めたお金をさらに増やすにはどうしたらよいでしょうか。私たちはパン作りやアクセサリー作りの教室を開き、商品の作り方や売り方を教えています。そこで習った知識と技術を活かして、パンを売ったり、小さな

雑貨店を開いたりして、収入が増えれば、いずれは支援がなくても自立した生活を送ることができるでしょう。

貧困からの卒業

これまでの活動を通して、貯金を増やしたり、新しい商売を始めたり、貧しい生活から抜け出す一歩を踏み出したりしている人たちがたくさんいます。自分たちの力で貧しい生活から抜け出してもらうためには、お金を渡すだけでなく使い方を伝えていくことが大切だと感じています。

貧困世帯支援プロジェクトの
専門家 植松美喜さん



日本の企業で研究職として勤務した後、保健分野のJICAボランティアとしてホンジュラスへ。2年間の活動を終えた後、保健とは異なる切り口でも国際協力の世界を見たいと思い、2017年から貧困世帯に対する生計向上・生活改善プロジェクトの専門家として再びホンジュラスで働いています。社会統合副省(社会福祉を担当する国の役所)や市役所の職員などさまざまな立場のホンジュラス人と一緒に貧困世帯に対する支援を行っています。

収入を増やすためパンやアクセサリーなどを作って売っています



マウリシオ・アリアス・ウィリアムス小中学校



夢

- 飛行機に興味があるので、軍用機のパイロットになりたいです。
- 人に何かをわかりやすく伝えることが好きなので、国語(スペイン語)の先生になりたいです。
- 英語の先生になりたいです。小さい頃から英語を習っていたので、子どもたちに教えたいです。
- 弁護士です。多くの人を法律上の問題から助けてあげたいからです。
- 電気を扱う技師になって、電気や携帯電話の電波を安定して供給できる仕事に就きたいです。

家族

- 両親と男6人、女4人の10人きょうだいです。犬、猫がいます。
- 父が離れたところで働いているので、祖父母と暮らしています。
- 兄と両親と暮らしています。

遊び

- 縄跳びが好きです。休み時間に時々遊んでいます。
- 「バテ」という野球のように棒でボールを打つ遊びが好きです。
- サッカーと野球が好きです。
- サッカーと「ランダ」という鬼ごっこのような遊びが好きです。
- サッカー、バスケットボール、バレーボールが好きです。



■土井誠人さん……北海道厚岸町立厚岸中学校の教員。2017年7月からJICA青年海外協力隊、小学校教育隊員としてホンジュラスで活動。南部のチョルテカ市の小学校で現地の先生を対象に、主に算数の教え方をよりよくするための取り組みをしています。趣味は旅行。(2017年12月3日現在)



飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する

アクセス

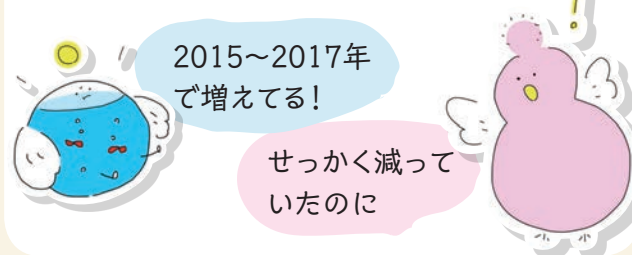
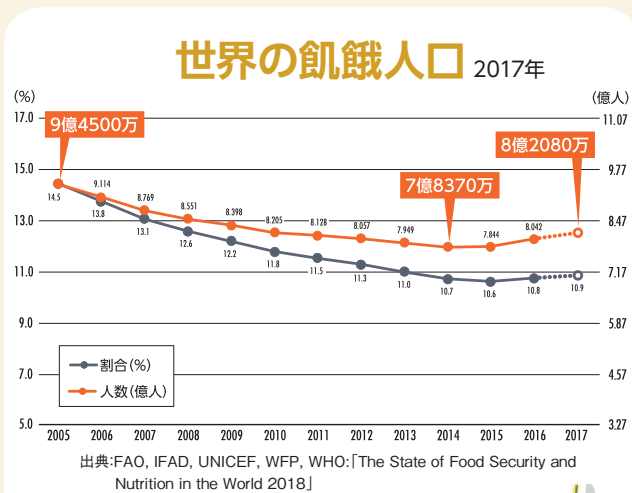


飢餓のない世界へ

「いただきます」と手を合わせるとき、みなさんは何を思いますか？ 私たちが暮らす日本は、食料自給率は約40%と先進国の中でも最低水準で、食べ物の多くを海外からの輸入に頼っています。一方で、まだ食べられる食品を年間約650万トンを捨てています。それは世界の1年間の食料支援である320万トンの2倍以上に当たります。

毎日の食事で元気をチャージするのは、人類共通です。しかし、地球全体でみれば十分な量の食料が生産されていても、それが公平に行き渡らない社会に私たちは生きています。

ゴール2が目指すのは、飢餓がなく、すべての人々が一年中食べ物の心配をしなくてよい社会です。身近な食事の問題を通して、SDGs 達成のために私たちにできることがないか考えてみましょう。



調べてみよう、考えてみよう

Q 日本人にはなじみ深いお好み焼きですが、材料の豚肉・エビ・かつおぶしが日本で作られている割合はそれぞれ、どのくらいかな？

A 豚肉47%、エビ3%、かつおぶし71%です。

解説はこちら「JICA どうなってるの？ 世界と日本」



国民食の自給率を上げる

2018年6月18日現在

十分な栄養、取れるように

世界には十分な食事や栄養を取ることができず苦しんでいる人が多くいます。世界全体では減ってきましたが、いまだ9人に1人が十分な食料を得ることができず、特にアフリカ地域では成人の半数以上が食料の問題に直面しています。

アフリカ大陸の西海岸沿いの国セネガルは、主食である米の約60%を輸入に頼るなど食料自給率が低いため、食料価格が左右されやすく、偏った栄養の食事になりがちです。このため、貧しい家庭の人々も含め、安定して栄養価の高い食事が取れるような対策が必要です。

家庭の味「チェブジェン」

セネガルの人たちが日常的に食べている料理は「チェブジェン」です。野菜と魚の煮汁で炊いたごはん、野菜と魚を盛り付けたトマト味の料理で、セネガルの国民食です。



セネガルの国民食「チェブジェン」。ごはんの上いろいろな野菜や魚のっています

しかし、チェブジェンに使う材料を自分の国で生産できているかといえば、米は40%、トマトペーストは約半分をセネガルで生産し、多くを外国からの輸入に頼っています。魚も、これまでに取りすぎってしまったことから、種類によっては量が少なくなっています。

人口が増える中、セネガルにとって食料を自給することは、国の未来にも関わる大きな課題となっています。こうした状況を変えるために、自給率を上げる取り組みが始まりました。



セネガル



- 国名 セネガル共和国
- 面積 19万7161km²(日本の約半分)
- 人口 約1585万人(2017年、世界銀行)
- 首都 ダカール
- 民族 ウォロフ族、ブル族、セレール族など
- 言語 公用語はフランス語、ほかにウォロフ語など民族語
- 宗教 イスラム教(約95%)、キリスト教、伝統的宗教
- 時差 9時間(日本が進んでいる)



漁民ら全員でタコソゴ設置



農業も漁業もサポート

日本はセネガルでの米、トマト、魚の生産に関わっています。米については、セネガル川流域の水路を整備し、稲作技術の改良を支援しています。

トマトの生産には日本の企業が協力をしています。トマトソースはセネガルをはじめアフリカ地域では欠かせない調味料です。食品大手メーカーのカゴメは、セネガルでソースに使う加工用トマトの生産増加のための事業を始めています。

魚介類は今後

も安定して取ることができるよう、政府と漁師が一丸となって活動できるかたちをつくるなど、魚を取り過ぎないためのさまざまな仕組みづくりを支援しています。

こうした取り組みには、日本が国内で開発してきた技術に加え、多くの国を支援して得た経験が活かされています。セネガルが、食料を安定して生産でき、経済もよくなり、豊かな食生活の維持につながることを目指しています。



セネガルで製造された脱穀機。プロジェクトによる適切な維持管理方法にかかる指導を通じ、精米品質の向上が期待される



セネガルで製造された精米選別機。プロジェクトによる製造業者への指導を通じ、適正な構造を持ち、選別精度の高い国産選別機の開発が期待される

JICA 農業・水産開発担当 関口卓哉さん

2016年6月からJICAセネガル事務所で農業・水産開発、周辺国のガンビアの協力を担当しています。大学院卒業後、JICA本部(日本)で主にアフリカ、中東、中央・南アメリカを対象とした森林・自然環境の保全を担当してきました。人の暮らしをよくするための開発が、自然と調和し、次の世代に豊かな地球環境を残せるよう貢献していきたいです。



Mbaye Ba ムバイバさん

(10歳・小学4年生)



ウォロフ語 **ナンガデフ** こんにちは
Nanga def



ムバイバさん(右)と、一緒に学校に通う妹

家族

学校に通うために妹と2人で市内の親戚のおばさんの家で生活しています。家族はここから40kmほど離れた村に住んでいます。村には、両親やきょうだい、親戚を合わせて30人以上の家族がいます。

夢

大統領になって、セネガル人の生活を豊かにすることです。そのために、今は小学校でフランス語や算数の勉強を頑張っています。

学校

友達に会えるので、学校は大好きです。日常生活では2種類の現地語を使っていますが、授業ではフランス語を使います。フランス語を書くことが難しいので、家に帰ったら毎日復習をしています。

宝物

家で飼育しているヤギたちです。学校から帰ると、エサをやったり、ミルクをしぼったりするお手伝いをしています。赤ちゃんがたくさん生まれたので、大きくなるのが楽しみです。

悩み

離れて暮らす家族になかなか会えないことです。年に1度、学校が長期休みのときに村に帰ります。それ以外は、ほとんど会えません。おばさんは優しく、ここでの生活で不自由はしていないけれど、早くお母さんに会いたいです。



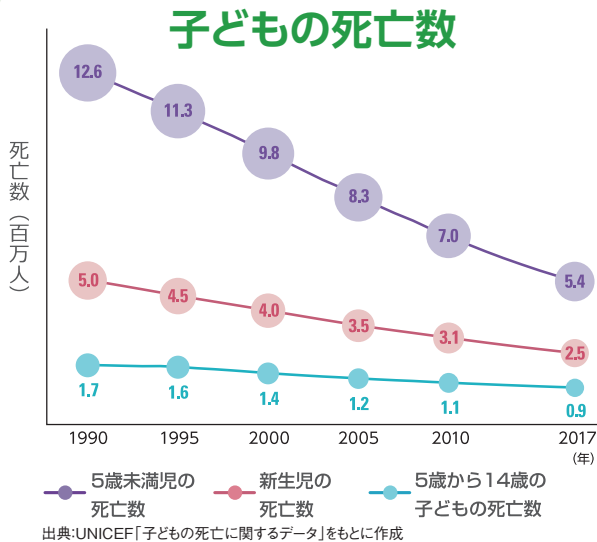
■浮田真琴さん……動物たちが食べる牧草作りや、動物の病気を防ぐためのワクチン接種を広める活動をしています。家畜がたくさんいる地域に住み、自身も家でヤギやカモを飼育していて、毎日楽しんで世話をしています。2017年3月に大学を卒業後、7月よりJICAの青年海外協力隊としてセネガルへ。セネガル北東部リンゲール県の畜産局に所属し、家畜飼育隊員として2019年7月まで活動予定。

(2018年6月4日現在)

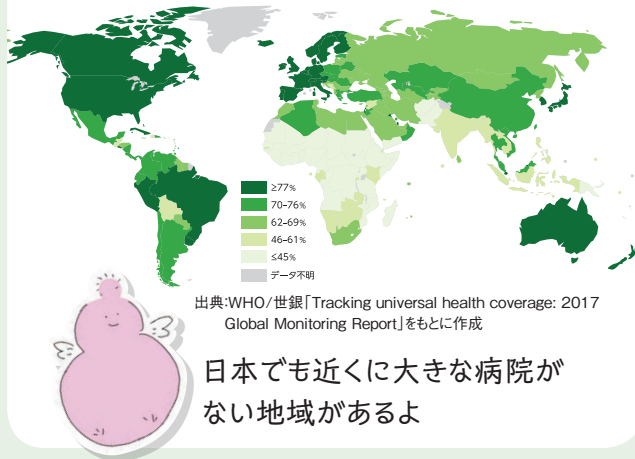
健康でいるために

ゴール3では、あらゆる年齢の人々が、健康的に、安心して、いきいきと生活を送れるようにすることを目指しています。世界には、予防できる病気で命を落としてしまう子どもたちや、貧しさ故に、薬が買えなかったり、安心して医療サービスを受けられなかったりする人たちがいます。また、日本と同様に、交通事故や不健康な食生活による生活習慣病、精神的なストレスが原因の病気——などを抱えていたりする人たちも多くなります。何歳になっても、健康でいられるために、私たちはどんなことができるでしょう。

あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



十分な保健医療サービスを受けられる人の割合



調べてみよう、考えてみよう

Q1 世界では、5歳に満たない子どもたちが毎日1万4500人、1年間で530万人、命を落としているといわれています(2018年時点)。どんな理由で命を落としているのだろうか、調べてみよう。

「生活習慣病」南の島でも

2017年7月9日現在

日々の生活の中で繰り返し行われていることを生活習慣といえます。野菜不足、甘いものや脂っこいものとりすぎ、たばこ、運動不足など、不健康な生活の積み重ねで起こる病気のことを生活習慣病と言います。

世界の死者の約7割

全身に栄養分や酸素を運ぶための道が「血管」です。その内側に脂がたまって血液が流れにくくなると、心臓や肺などの、体の臓器の具合が悪くなり、高血圧、心臓病、糖尿病などを引き起こします。近ごろでは、子どもたちにも生活習慣病やその予備群が増えていることもわかっています。世界で亡くなる人の約7割にあたる3800万人が生活習慣病で亡くなり、そのうち1600万人が早期死亡といって、70歳の誕生日を迎える前に命を落としています。ゴール3では、生活習慣病による早期死亡を2030年までに3分の1に削減することを目標にしています。

肥満大国キリバス

生活習慣病は一昔前まで、先進国の裕福な人がかかりやすい「ぜいたく病」と思われていましたが、現実とは違ってくるようになってきました。背景には、生活様式、ファストフードや加工食品の普及などによる食習慣の変化が急速におきていることが挙げられます。開発途上国でも患者数は増加の一途をたどっており、南太平洋に位置するキリバスもその国の一つです。キリバスはサンゴからなる島国で、かつてはココ



巡回型の健康診断に参加する村の住民



キリバス フィジー



- 国名 キリバス共和国
- 面積 730km² (対馬とほぼ同じ)
- 人口 約12万人 (2017年、世界銀行)
- 首都 タラウ
- 民族 ミクロネシア系(98%)、その他ポリネシア系、欧州人が居住
- 言語 キリバス語、英語(共に公用語)
- 宗教 キリスト教(主にカトリック、プロテスタント)
- 時差 3時間(日本が遅れている)



健康な村づくりをサポートする現地スタッフ

ナツヤパンの実などの自生植物や近海で取れる魚介を主食にして栄養価の高い食事をとってきました。しかし近年、商業が発達し、スーパーマーケットや小売店が増えて、海外からの輸入品の缶詰やインスタントラーメン、お菓子が手軽に安く手に入るようになり、住民の食生活は大きく変わりました。ところが、同じ輸入品でも、新鮮な野菜は、キャベツ1個 2000円と高価で、一般家庭では手が届きません。最新の調査では、キリバスの人の100人中2人未満しか、世界保健機関(WHO)が推奨する野菜(1日小鉢5皿)をとっていないことがわかりました。100人中81人が肥満で、高血圧は100人中

33人、今後も増え続けることが危惧されています。

健康な村へ組織づくり

JICAはキリバスの保健省と一緒に、健康課題について学び合い、話し合うための組織を村ごとにつくり、村の人たちが思い描く「健康な村」に近づくように体制づくりを支援しています。例えば、村の家庭菜園を増やしたり、公共の場での禁煙ルールの徹底、スポーツの振興など、個人の努力では難しいことも、皆の知恵と力を結集することで、実現に近くと考えています。



南太平洋に位置するキリバスやフィジーなどの大洋州諸国で取れる魚や果物



生活習慣病予防を呼びかけるイベントをダンスで盛り上げる子どもたち

JICA 大洋州生活習慣病対策プロジェクトの地域保健の専門家 菊池雅子さん

日本の病院のがん病棟で看護師として働いた後、ガーナの農村で青年海外協力隊として保健活動をした際、病院での治療だけでなく、病気の予防、誰もが病気にかかっても豊かに生活を送れる地域づくりに貢献したいと思い、地域保健の道を歩み始めました。



カルビンさん

(12歳・小学7年生)

(フィジーの小学校は8年生まであります)



フィジー語

ブラ Bula!

こんにちは



家族

5人(祖父母、弟、伯父さん、自分)で生活。タロイモ、ヤンゴナ(コショウ科の木、フィジーの伝統的な飲み物の材料)を栽培する農家。母はシンガーで、両親はアメリカで仕事をしています。

大切なもの

歌うこと。毎週日曜日は教会で賛美歌を歌うし、お母さんはシンガーなので、僕にとって歌うことは家族との絆まじりのようなものです。

遊び

フィジーではラグビーが国民的スポーツ。大人も子どもも大好きです。僕も学校のラグビーチームでいつも練習しているよ。雨で外に出られない時はトランプゲームに夢中。

教科

得意な教科は算数、苦手はズバリ、フィジー語! 学校で習うフィジー語は家で家族と話しているものとは違い、古い単語や言い回しだったりするので難しいんだ。フィジー文化や歴史も勉強します。

休日

毎週日曜日は教会に行くけれど、それ以外では友達とボートで近くの島へ魚釣りに出掛けるのが大好きです。

夢

料理をするのが好きで将来はホテルで働くシェフになりたい! いつもおばあちゃんのお手伝いをしています。



■星川あいさん……管理栄養士。フィジーで2番目に大きいバヌアアレブ島最大の町ランバサを拠点に、児童の弁当の栄養バランスチェックや保護者向けのクッキングデモンストレーションなど生活習慣病の対策や予防を呼びかける活動をしています。JICA青年海外協力隊として2015年7月から2017年6月までの2年間、フィジーに派遣。

(2017年7月2日現在)



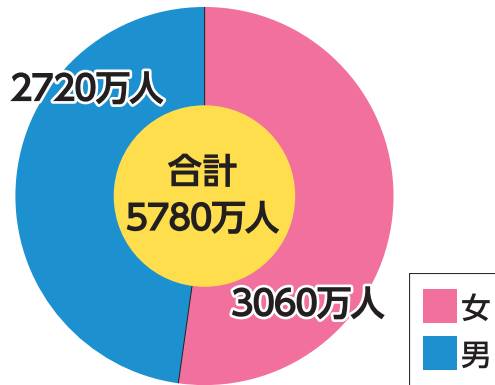
すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を
提供し、生涯学習の機会を促進する

SDGsの「土台」に

ゴール4では、誰もが一生学び続けられるようにすることを目指しています。すべての子どもが、基本的な能力を身につけるために質の高い教育を受けられるようにする、男女の差なく学べるようにする、働きがいのある仕事に就いたり、より高い技能を身につけられるようにする——。人、家庭、国などの状況によっても、ゴール4達成に向けた狙いはいろいろ考えられます。

未来のより良い社会を築くために、「教育」は、すべてのSDGs達成のための「土台」とも言えるでしょう。質の高い教育のために、国・地域を超えたグローバルな「学び合い」や、協力し合う関係づくりが重要視されています。

世界の学校に行けない児童の数



●参考:日本の児童数約645万人(※2)

(※1)

なぜ女の子の方が学校に行けない人数が多いんだろう？



サハラ以南アフリカでは5人に1人が学校に行けないんだ(※3)

(※1) UNESCO「Education for All(EFA)グローバルモニタリングレポート2015」をもとに作成
(※2) 文部科学省統計要覧(平成30年版)
(※3) UNICEF「世界子供白書 2011」

調べてみよう、考えてみよう

Q₁ なぜ、学校に通うことができないのだろう。
(①世界、②日本について考えてみよう)

Q₂ もし学校がなかったら、どんな不安があるだろう。考えてみよう。

よりよい教科書を ラオスの人と

2017年6月11日現在

ラオスの教育スポーツ省教育科学研究所で、算数の小学生向け教科書と先生用の指導書を作るお手伝いをしています。教科書を作るための研修会に参加して、算数の教え方や手作りの教材についてラオスの先生たちと話し合ったりもします。

貧しくても一生懸命

ラオスは東南アジアの中でも経済的に貧しい国の一つです。教育にあてる国のお金が不足して、教室や先生が足りず、1クラスに児童が60人もいたり、1人の先生が2学年とか3学年を同時に教えたりすることもあります。教科書は、日本とは違い学校から借りて使います。また、先生が使う教材や道具もあまりそろっていません。それでも子どもたちは、仲良く協力しながら一生懸命に勉強しています。

ラオスの子どもたちのいいところは優しくて礼儀正しいところです。あいさつやお礼を言う時は、胸の前で両手を合わせます。

ラオスについて学びながら

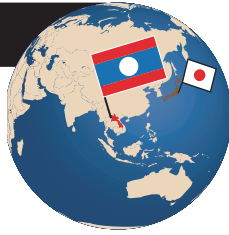
世界中にさまざまな教科書がある中で、皆さんの使う日本の教科書は最も優れたものの一つだと思います。一人一人がじっくり考えて算数の力を高められるように工夫されているのです。だからといって日本の教科書をラオス語に翻訳して「ボンツ」と渡したとしても、うまくい



始業のあいさつも両手を合わせて



ラオス



- 国名 ラオス人民民主共和国
- 面積 24万km²(日本の約5分の3)
- 人口 約686万人(2017年、世界銀行)
- 首都 ビエンチャン
- 民族 ラオ族(全人口の約半数以上)を含む計49民族
- 言語 ラオス語
- 宗教 仏教
- 時差 2時間(日本が進んでいる)



ラオスの地方部の小学校で算数の授業をする斎藤さん

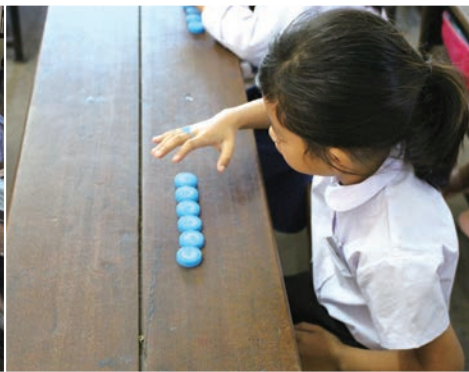
かないでしょう。ラオスには日本とは異なるラオスならではの文化や環境、もの考え方があるからです。

ですから私たち専門家にとって、ラオスの学校を数多く訪問して子どもたちや先生方の様子をよく知り、たくさん語り合っ

てラオスの学校について学ぶことが大切な仕事です。その上で、ラオスの人たちと算数に対する考え方や教え方をじっくり話し合い、ラオスと日本、両方のよさを兼ね備えた教科書を、力を合わせて作っています。



お試版の算数教科書を手にする1年生



数のブロックの代わりにペットボトルのキャップを動かして勉強

JICA 算数教育の専門家 斎藤 健二さん

小・中学校の教師として勤めた経験を生かしてJICAボランティアとして活動した後、算数教育などのJICA専門家としてザンビア、バングラデシュ、エジプトで活動。ラオスでは2016年2月から、穏やかで心優しい現地の人々に囲まれながら「初等教育における算数学習改善プロジェクト」の専門家として働いています。休日にはラオスの若者たちにギターを教えたり、ラオスの人から伝統の踊りを教わったりして交流を深めています。

ソンケーオさん (10歳)



ラオス語 サバイディー こんにちは



夢

優しい看護師さんになって、けがや病気で苦しんでいる人たちを助けたいです。でも看護師になるのは難しそうなので、なれるか心配です。一生懸命勉強を頑張ります。

家族

父と母、祖母、6歳の妹、私の5人家族です。かわいい牛や鶏たちも大切な家族です。父の仕事は農業で、キャベツやキュウリ、トマトを育てています。父が大事に育てた野菜を母が市場で売っています。

食べ物

カオニャオ(ラオスの主食のもち米)とお肉と一緒に食べるのが大好きです。中でも、お母さんと一緒に焼いて食べる焼き鳥が大好きです。

学校

ラオス語と英語の授業が難しく大変です。毎日おうちに帰ったら復習をしています。最近は算数の勉強がとても楽しいです。前よりもかけ算が速くできるようになりました。

村のこと

みんな優しく、家族みたいなところ。家の裏にある山もお気に入りの場所です。不発弾*を見つけたことがあって、その時はすごくビックリしました。

*戦争中に落とされて、爆発しないまま残っている爆弾



■平良晃洋さん……福岡市立南当仁小学校の先生。ラオスで、算数と英語の授業をよりよくするために、現地の先生向けにワークショップやモデル授業をしています。JICAの現職教員特別参加制度で2016年6月から2018年3月まで青年海外協力隊として派遣。ラオス北東部のシェンクワン県カンカイ村の教員養成校に所属。(2017年6月4日現在)



女性活躍の促進、男女共同参画の推進、ジェンダー平等の実現

当たり前を見直す

世界には「女性だから」という理由で教育や就職の機会が限られることがまだまだあるのが現状です。

性別には、体のつくりでいう「男女」があります。一方「男らしい」「女らしい」というように、社会や生活の中でつくられた役割としての「男女」もあります。こちらをジェンダーと言います。

ゴール5が目指すのは、ジェンダーの平等です。すべての女性や女の子も、男性と同じように機会が与えられ、能力を発揮できる社会です。育児・介護・家事など、家庭での仕事を改めて評価することも大切です。私たち一人一人の中にある「当たり前」を見直すことがジェンダー平等のはじめの一歩になります。

ジェンダーギャップ²⁰²¹

男女格差が小さい	1	アイスランド	0.892
	2	フィンランド	0.861
	3	ノルウェー	0.849
	4	ニュージーランド	0.840
	5	スウェーデン	0.823
	6	ナミビア	0.809
	7	ルワンダ	0.805
	8	リトアニア	0.804
	9	アイルランド	0.800
	10	スイス	0.798
		・	
		・	
		・	
	120	日本	0.656
		・	
		・	
	154	イラク	0.535
	155	イエメン	0.492
男女格差が大きい	156	アフガニスタン	0.444

出典:世界経済フォーラム「The Global Gender Gap Report 2021」



なぜ日本は156か国中120位にとどまっているんだろう？

調べてみよう、考えてみよう

Q1 身の回りに性別によって役割が決まっていることがあるかな。どんな理由かな。

Q2 あなたの家では、食事の支度や掃除などの「家の仕事」を誰がどのくらいしている？

女性の活躍が
発展のカギ

2018年2月11日現在

20年にわたる内戦

20年以上続いたカンボジアの内戦終結後、最も早く始まったJICA事業の一つが1996年からのジェンダー（社会的な性別）の平等と女性の自立に向けた協力でした。内戦で男性が極端に少なくなり、残された女性の地位向上や経済的自立が国全体の復興のために急務と考えられたのです。

背景に伝統的な考え方

カンボジアには「男性は金、女性は白い布」ということわざがあります。女性は「一度汚れると元の純白には戻れない」「男性のように損なわれない価値がある存在ではない」というたとえで「もろく弱い」というイメージにもつながっています。今も社会に残るこうした伝統的な考え方は、家族の誰に多くのお金を費やすかということにはっきりと表れます。例えば、誰を学校に行かせるかを考える時、まずは男子であって女子ではないのです。

そこでJICAは、カンボジアの役所（女性省など）と連携して、国民の多くが住む農村部で女性の経済的自立を目指す活動を試験的に実施してきました。その活動例として、養鶏の研修があります。

養鶏で見直すお互いの役割

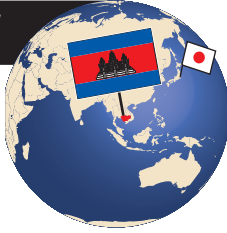
研修では鶏小屋の作り方や餌のやり方、病気予防のためのワクチンの打ち方といった養鶏の技術だけでなく、鶏をいつ売れば高い値段で売れるのかといった商売のための知識に加えて、ジェンダーについての知識も得る機会としたのです。養鶏のためにともに働くことでお互いの役割を見直し、補い合う関係に気付いた夫婦。鶏を泥棒から守るために夫の夜の飲酒が減り、そのために家庭内暴力も減った夫婦。教をを請いに来た隣村の男性たちに対応する妻を誇らしく思い、妻の発言や活動に理解を示すようになった夫。男女はそれぞれ異



ヤン・リーサーさん
(11歳・小学6年生)



カンボジア



- 国名 カンボジア王国
- 面積 18万1000km²(日本の約半分弱)
- 人口 約1600万人(2017年、世界銀行)
- 首都 プノンペン
- 民族 カンボジア(クメール)人(約90%)
- 言語 カンボジア(クメール)語
- 宗教 仏教(一部少数民族はイスラム教)
- 時差 2時間(日本が進んでいる)



ひな鳥の健康状態をチェック。購入するめんどりの選び方を学びます。研修には男女に関係なく参加できます

なるからこそ、ともに尊重し協力し合うことが大切であると研修で気付きます。同時に、これは養鶏だけに限られた話ではなく、家事でも子どもの世話であっても変わらないことも伝えています。

この養鶏の例を基に、女性の経済的自立を支援するための政策を、カンボジアの国自身で続けていくことが期待されています。



鶏に病気予防のワクチン注射をします。ワクチンを打つ人のまなざしは真剣。他の参加者は興味津々



鶏に餌をやります。生育にあわせて囲いを変えます

JICA ガバナンス分野の専門家 林英一郎さん

政府開発援助(ODA)機関、コンサルタント、非政府組織(NGO)での勤務を経て、現在JICAカンボジア事務所でガバナンス(国などの管理体制)に関する企画調査員として勤務しています。初の海外赴任は1996年、現在と同じカンボジアでした。その翌年に経験した首都プノンペンの軍事衝突がきっかけとなり、国際協力に従事しようとして改めた決意しました。その後、カンボジア勤務は複数回となり、勤務期間の合計は今年で12年目を迎えます。1935年にプノンペンで誕生した三輪自転車タクシーのシクロが大好きです。シクロは前方の座席にお客や荷物をのせて運びます。



クメール語
チョムリアップスーウォ こんにちは



家族

7人家族です。両親、兄と弟の男兄弟が3人、妹が1人います。お父さんは兵隊、お母さんは清掃職員です。

夢

小学校の先生になって、子どもたちの勉強のサポートをしたいです。

教科

好きな教科は英語とクメール語。将来、外国に行きたいです。イギリスにいるおじいさんに会いに行きたいからです。苦手な教科は算数。難しいからです。

大切なこと

勉強することです。将来、家族を支えるために大切なことだからです。

食べ物

チャークニヤイ(シウガ炒め)、チャーカナー(花の炒め物)が好きです。



学校内にある購買。休み時間はここでお菓子やジュースを買います



■辻村靖子さん……小学校で鍵盤ハーモニカを使った音楽活動の普及をしています。現地では音楽の授業がなかったり、音楽指導のできる先生がいない学校がほとんどのため、リズムやドレミから教えています。千葉市立稲毛中学校教諭で2017年7月からJICA青年海外協力隊員としてカンボジア・ポアサット州青少年スポーツ局教育省青少年課に派遣。

(2018年2月4日現在)



すべての人に水と衛生へのアクセスと
持続可能な管理を確保する

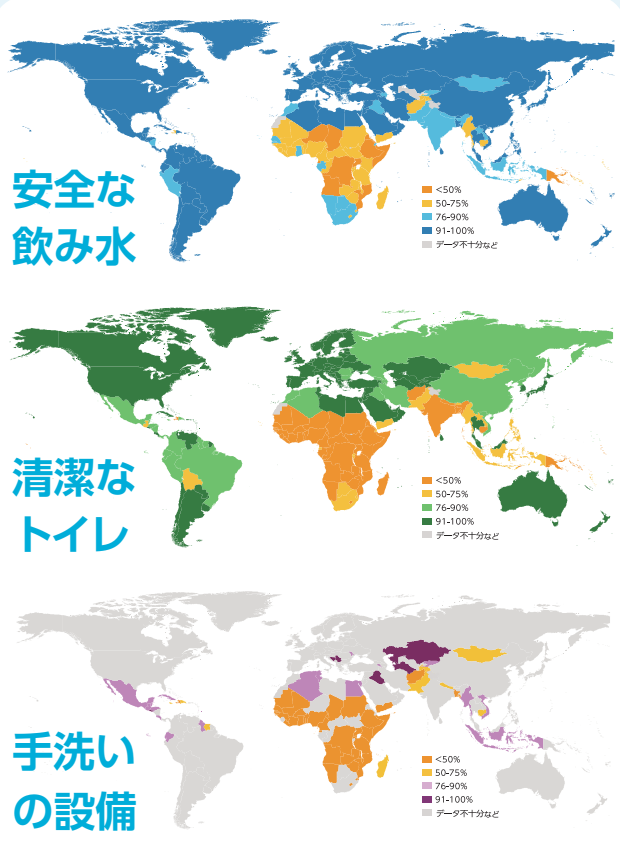
飲み水からトイレまで

私 たちの体の70%を占める水は命の源です。飲み水からトイレまで、生活になくてはならないものです。しかし、世界では、10人に3人が安全な水を自宅で得られず、農村部に住む人の半数以上は清潔なトイレを使えていません。

こうした現状を背景に、北アフリカや西アジア地域を中心に、5歳未満の子どもが毎日1000人以上も、下痢で命を落としています。下痢は手を洗うせっけんや安全な水があれば防げる病気です。

ゴール6は、安全に管理された飲み水とトイレを、世界中の人が使えることを目指します。

蛇口から簡単に飲めて、使える水から、世界を取り巻く問題を考えてみましょう。私たちには何ができるでしょうか。



出典: UNICEF/WHO [Progress on Drinking Water, Sanitation and Hygiene: 2017 Update and SDG Baselines]



水がないって「のどがかわいて困る」
ってことだけじゃないんだ

調べてみよう、考えてみよう

Q1 もし家の水道が止まったら、どんな暮らしになるだろう。朝から寝るまでの一日を具体的に書いてみよう。



安心して 飲める水を

2018年7月23日現在

ミャンマーでは安全な水を住民に届ける水道が整備されていません。日本では蛇口から当たり前に出て、そのまま飲むこともできる安全な水道水。日本では当たり前の生活をミャンマーで実現できるよう、水衛生局の職員と一緒に水道サービスの改善に努めています。

急な発展、古い設備

ミャンマー最大の町、ヤンゴン市の水道水は、市役所の水衛生局が配っています。しかし水道管を通じて給水を受けているのは人口の約3分の1で、蛇口から水が出ない日も少なくありません。住民の多くはボトル入りの水や、地下水を井戸からくみ上げ、水を手に入れています。

ヤンゴンの水道は、約100年前に造られた設備を使い続けています。近年、町が急に発展し、人口や建物が増えたため、水そのものや、配るための施設が足りていません。また、古いパイプから漏れてしまうこともあります。私たちは水漏れの探し方や修理の仕方、水漏れを防ぐ方法など、水道管の整備にかかわるさまざまな技術を、水衛生局の皆さんに伝えています。

サービスを続けるために

水道水を使うお客さんは使用料を払います。この使用料が収入となって、水を届ける「水



浄水場の適切な運転について職員(右)と議論する専門家

ミャンマー



- 国名 ミャンマー連邦共和国
- 面積 68万km²(日本の約1.8倍)
- 人口 5337万人(2017年、世界銀行)
- 首都 ネーピードー
- 民族 ビルマ族(約70%)、その他多くの少数民族
- 言語 ミャンマー語、シャン語、カレン語、英語
- 宗教 仏教(約90%)、キリスト教、イスラム教など
- 時差 2時間半(日本が進んでいる)



バルブと流量計を水道管に取り付ける正しいやり方を学ぶ職員

道サービス」を続けることができます。水漏れや使用量を測るメーターが壊れていると、正しい水道料金を得られず、資金不足でサービスを続けることができなくなってしまう。

水道水が届く地域を広げ、水をきれいにする施設を造るなど、質の高い水道サービスを実際にどうやって維持していくのか、ミャンマーの人たちは計画を立てています。例えば、将来の水道料金を考えることもその一つです。こうした計画作りへのアドバイスも、私たちの仕事です。

蛇口から安全な水道水

最大都市ヤンゴンの水道水は、地下水や貯水池の水がそのまま流されていることも多く、そうした水で洗濯をするとシャツが茶色くなります。消毒されていないこともあり、うっかり飲んでしまうと、おなかを壊してしまいます。

透明で、蛇口からそのまま飲める水道

水がある日本の技術を生かそうと、まじめで熱心なミャンマーの人たちは、私たちが教えることを一生懸命に吸収し、分からないこと、改善しなければいけないことを一緒に話し合って前に進んでいます。



発展するヤンゴンの中心部。あちこちで建て替え工事などが進む



水道の水質をチェックする職員

JICA 水道プロジェクト副チーフアドバイザー 大野敦生さん

水道用製品のメーカーに勤務後、イギリスへの留学を経て、国際協力分野の仕事に。2015年7月から、ミャンマーで水道プロジェクトの副チーフアドバイザーとして働いています。アジアやアフリカの国々で、安全な水を住民に届けるお手伝いをしています。温厚でまじめで、信心深いミャンマーの人と日本人は相性も良く、毎日楽しく仕事をすることができています。



Eaint Hmue Thakhin エインムー タキンさん



(11 歳)

ミャンマー語

タミンサーピービーラ

こんにちは



夢

画家になることが夢です。絵を描くことがとても好きだからです。

勉強

ミャンマー語の読み書きが好きです。英語の授業もあります。将来はテレビで見たシンガポールに行ってみたくので、英語も頑張って勉強したいと思います。

家族

お父さんとお母さんと私の3人家族です。お父さんの仕事は病院のエンジニアで病院のいろいろな機械を修理できて、すごいと思います。病院の大切な仕事です。

ミャンマーの自慢

パヤー（仏教の塔）は、とてもきれいです。伝統工芸品も素晴らしいです。



エインムーさん一家。
パヤーの前で

食べ物

朝、お母さんが作ってくれる、タミンジョー（炒めご飯）とチェウーチャー（卵炒め）が大好きです。



炒めご飯のタミンジョー



■日向泰史さん……年間約10万人が利用するヤンゴン小児病院で、医療機器の管理のほか、現地エンジニアに技術的な指導もしています。日本では画像診断に使う医療機器のエンジニアをしていました。JICAの民間連携ボランティア制度を利用し、2018年2月、青年海外協力隊としてミャンマーのヤンゴンへ派遣され2020年2月まで活動。

(2018年7月2日現在)



近代的なエネルギーへのアクセスを確保する
すべての人に手頃な形で信頼でき、持続可能かつ

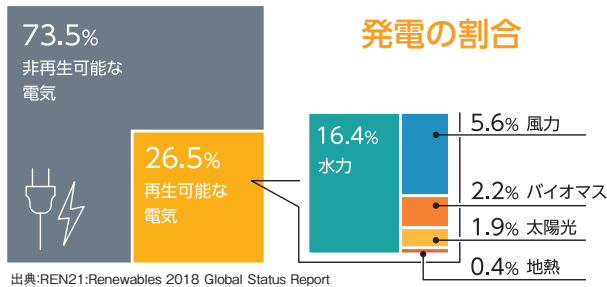
一人一人の省エネから

人類は、石炭や石油などの化石燃料を大量に使って発電してきました。その結果、二酸化炭素などの温室効果ガスの量が増え、地球温暖化が起きています。

私たちの生活には電気が不可欠です。夜に本を読んだり、冷房・暖房を使い快適に過ごせたりするのも、電気のおかげです。一方、世界の約7人に1人(2016年、国際エネルギー機関)は電気のない生活を送っており、その多くはフィジーのような島国やアフリカの国々に住んでいます。

地球温暖化を抑え、電気をすべての人に届けるには、どんな方法があるでしょう？ ゴール7は再生可能エネルギーなどの研究と開発、そして広く使えるようにすることが目標です。省エネなど、私たち一人一人ができることも多くあります。

世界の再生可能エネルギー



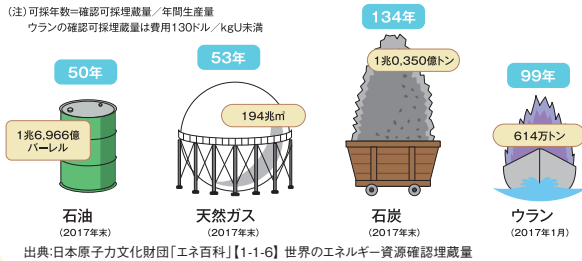
電気の普及

電力を利用できる世界の人口の割合は増加傾向で2016年には87%に。電気のない生活を送る人は10億人弱にまで減った。

後発開発途上国では、2000年から2016年の間に、電気利用者の割合が2倍以上に増えた。

出典:国連「持続可能な開発目標(SDGs)報告2018」

世界のエネルギー資源確認埋蔵量



調べてみよう、考えてみよう

- Q1 再生可能エネルギーには、太陽光発電のほかどんな種類があるかな？
- Q2 家でできる省エネにはどんなものがあるかな？

小さな島にも電気を

2018年8月20日現在

新たなエネルギー源を求めて

ミクロネシア、マーシャル、キリバス、ツバルなど、大洋州の多くの島国では、日本と同じように石油やガスなどのエネルギー資源は、大半を輸入に頼っています。家庭や商店で使う電気は、ディーゼル発電機という小さな発電機で作らざるを得ないことから、電気は非常に高価なぜいたく品です。

■電気がない生活

首都から離れた小さな島では、電気が使えない、あるいは使えるのは夜だけという地域もたくさんあります。夜空を見上げると、天の川や南十字星が瞬き幻想的ですが、暗い部屋で電気が使えないと、本を読むのも大変でやはり不便ですね。

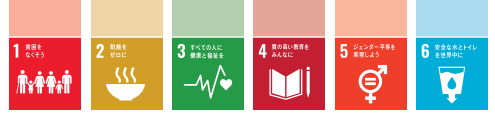
■気候変動に対応

フィジーやトンガなどの南太平洋では、毎年のようにサイクロンが発生します。日本の台風に似た気象現象です。多数の負傷者や犠牲者が出ることもあるため、各国はその原因と考えられている気候変動への対応を急いでいます。

電力についても、石油を燃やして発電すると、二酸化炭素(CO₂)といった太陽からの熱を閉じ込めるはたらきのある「温室効果ガス」が大量に発生するので、地球環境に優しい太陽光発電など再生可能エネルギーを普及させる取り組みを進めています。

大洋州のリーダー国

普段、私はフィジーに拠点を置く大洋州電気事業者協会に出勤しています。国の役所の一つ「インフラ省エネルギー局」や「フィジー電力会社」などのパートナーと協力しながら、石油が燃料のディーゼル発電機と、太陽光などの再生可能エネルギーをうまく組み合わせ、より安定して電気を届ける設備づくりのお手伝





- 国名 フィジー共和国
- 面積 1万8270km²(四国とほぼ同じ)
- 人口 約91万人(2017年、世界銀行)
- 首都 スバ
- 民族 フィジー系(57%)、インド系(38%)、その他(5%)
- 言語 公用語は英語。ほかにフィジー語、ヒンディー語
- 宗教 キリスト教(52.9%)、ヒンズー教(38.2%)、イスラム教(7.8%)
- 時差 3時間(フィジーが進んでいる)



フィジーに設置された訓練用の太陽光発電設備

いをしています。

フィジーは大洋州の小さな島国を取りまとめるリーダーのような存在です。フィジーの電力会社には技術者が研修するの

ちよいどいい施設もあるので、ここを拠点にする予定です。まずは研修で先生とみる人のトレーニングをして、研修の内容や教科書を皆で協力して準備しています。



フィジーの風力発電。沖縄の設備と同じタイプのものが使われています



トレーニング内容について、真剣な議論が続いています。フィジーの研修施設で

JICA国際協力専門員 小川忠之さん

JICA 国際協力専門員として、アフリカ、中東、アジア、大洋州からカリブ海まで、世界各国でエネルギー・電力分野の技術アドバイザーとして活動。2017年3月からは「太平洋地域ハイブリッド発電システム導入プロジェクト」のチーフアドバイザーとしてフィジーで働いています。プロジェクトで対象となっているミクロネシア、マーシャル、キリバス、ツバルなどに出張し、それぞれの国で電力を安定して届ける仕組みづくりを手伝っています。



着ているのは「フィジーの伝統的な「フラシヤツ」」

マシューさん (10歳・小学5年生)

マロ エレレイ こんにちは



夢

将来は医者になりたいです。病気で苦しんでいる人を助けたいです。

家族

父と母、兄2人の5人家族、犬3匹、お手伝いさんが1人います。父の仕事は、海に見えるレストランのオーナーで多くの外国人が訪れます。僕も時々レストランのお手伝いをしています。

休日

トンガ人は日曜日に教会に行きますが、僕は土曜日にカトリック教会に行って神様にお祈りをします。日曜日は、お父さんのレストランに多くの人があるので手伝っています。

学校

クラスメートは20人。毎日楽しくみんなで勉強しています。休み時間には、みんなで走り回ったり、たまにトンガの国技のラグビーをしたりして楽しんでいます。

教科

算数が好きです。苦手な教科は、理科とトンガ語です。理科とトンガ語は、だんだんと難しくなっています。

島の自慢

ババウ島は自然が多く、きれいな島です。お父さんのレストランには自然の花や木を楽しむために多くの人を訪れます。海も近くでヨットで訪れる外国人も多いです。



■内野里香さん……各地の小学校で子どもたちにごみを少なくするための授業をしています。ごみを減らす目標をたて、達成した学校の表彰も。仕事仲間と毎週、山登りと一緒にごみ拾いもしています。JICA青年海外協力隊の環境教育隊員として2017年10月から2年間、トンガの環境省に配属。2番目に大きいババウ諸島で活動。(2018年8月6日現在)



すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する

人間らしい仕事に

SDGsは10年後の未来、2030年に向けた取り組みです。その頃みんなや世界の同世代の友達は「安全で十分な収入を安定して得られる」「性別や出身地、肌の色、障害があることなどで差別されない」「自分の能力にあっている」——そんな仕事に就けているでしょうか。

ゴール8が目指すのは、働く人たちの誰もが「働きがいのある人間らしい仕事（ディーセント・ワーク）」に就くことができ、世界の国々が安定して経済成長できる社会です。

いまだ世界には児童労働や、児童兵士の問題があります。日本では、長時間労働で心や体を壊してしまう過労死のニュースが大きく取り上げられています。ゴール8は働くことの問題解決に向けた取り組みです。

時代とともに仕事も変わる



©毎日新聞社

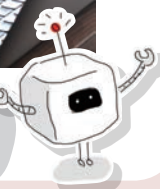
現在は自動改札ですが、以前は切符を切る駅員がいました

パソコンやスマホができて、減った職業もありそう



ネットで検索!

新たに生まれた仕事も多そうだ



調べてみよう、考えてみよう

- Q1** 大人はなぜ働いているのだろう。家族をはじめ身近な大人に聞いてみよう。
- Q2** 身の回りにどんな仕事があるかな？ 将来、あなたはどんな仕事をしたいかな？

日本の「5S」「カイゼン」世界に

2018年1月14日現在

作業を見直し

チーム力を高める

私の仕事は、日本が誇る「5S」や「カイゼン」をチュニジアに広めることです。「5S」は「整理・整頓・清掃・清潔・しつけ」のローマ字の頭文字をとって名付けられたものです。単なる掃除と誤解されることがありますが、5Sは仕事の質を高め、チーム力を高めるための活動です。

「カイゼン」は、作業の見直し活動です。主に製造業の生産現場で行われています。作業効率をよくしようとするとき、上司から指示されるのではなく、現場で働いている人自身が中心となって知恵を出し合い、自分たち自身の力で問題解決をはかっていく点が特徴です。近年、海外では「kaizen」という言葉で広く普及し始めています。私たち日本人にとって5Sやカイゼンは学校や家庭で学ぶ普通のことにも思われますが、実は世界に誇れる日本の強みなのです。

いま、チュニジア人のコンサルタント約20人を育成しながら、5S・カイゼンをチュニジアの電気・機械部品などを生産している企業に広める活動をしています。気を付けなければいけないのは、日本のやり方を押し付けるのではなく、チュニジアの人たちに納得してもらいながら、自分自身で5Sやカイゼンを始めてもらうようにすることです。

革命の混乱から

経済成長へ

チュニジアでは2011年に「ジャスミン革命」が起こり、社会の混乱が続きました。チュニジアはアラブ人が多く住んでいる比較的小さな国です。



エリエスさん

(8歳・小学2年生)



アラビア語 **アスラマ** こんにちは
(チュニジア方言) **عسلامة**



家族

技術研究者の父と、母、祖母の4人で住んでいます。いとこは8人、近くに住んでいてみんなきょうだいみたいです。バカンス(長期の休み)になると、一緒にいろいろな場所へ遊びに行きます。

食べ物

ピーマンの肉詰めや冬に食べる温かいラブラビ(ひよこ豆のスープをちぎったパンにかけたもの)が大好きです。チュニジア料理は辛いものが多いけど、食べやすいよ。サラダやフルーツも好きです。牛乳は嫌いだけど、おばあちゃんに言われて飲んでます。

夢

いつか、大好きなピザをたくさん出すお店を作りたいです。お店にはピエロを呼んで、みんなを楽しませたいです。もしお店におなかのすいている人がきたら、無料でピザを食べさせてあげます。

学校

アラビア語、フランス語、英語の三つの言葉や算数、理科などを勉強しています。大変だけれど、学校には友達がたくさんいて、楽しいです。学級委員をしていて、クラスのみんなのノートを集めたり、先生からの連絡を伝えたりします。学校の先生はほとんど女の子ですが、みんなお母さんみたいに頭がいいです。



■諸星緑さん……この仕事を選んだのは、小学生の頃、インドネシアに住んでいて、同じ年の子どもたちが学校に行かず道路で物乞いをしているのを見たことがきっかけ。生まれた場所で人生が違ってしまふのかと違和感を抱きました。世界中のどこで生まれても、夢に挑戦できる世界にするお手伝いをしています。JICA職員。2017年6月、チュニジア事務所に着任。インフラ整備や水産分野、広報などを担当。

(2018年1月7日現在)

チュニジア



- 国名 チュニジア共和国
- 面積 16万3610km²(日本の約5分の2)
- 人口 1153万人(2017年、世界銀行)
- 首都 チュニス
- 民族 アラブ人(98%)
- 言語 アラビア語(公用語)、フランス語
- 宗教 イスラム教スンニ派
(わずかにユダヤ教、イスラム教シーア派、キリスト教も信仰されている)
- 時差 8時間(日本が進んでいる)



工場内の作業の場所を色テープで表示して働きやすい環境にします

チュニジアは他のアラブの国と違い石油はほとんど出ません。オリーブやオレンジなどの農産物や繊維製品が主な生産物なので、電気・機械部品など工業化を進め、豊かな国になろうとしています。

そのため、5Sやカイゼン活動によってチーム力を高め、皆で知恵を出し合っておりよい製品を作ることが求められています。



改善前



改善後

整理整頓し、必要な書類を探す時間を短くします



効率よく仕事をするため文房具の置き場所を決めます

JICA品質・生産性向上の専門家 池田克登志さん

長年、大手電機メーカーの海外工場で、品質・生産性向上の専門家として勤務。工場での作業をやりやすく改善し、働く人の笑顔を見ることにやりがいを感じ、定年退職後はJICAで品質・生産性向上の専門家としてケニア、南アフリカ、エチオピアで活動。チュニジアでは、2009年から約3年半実施された「品質・生産性向上プロジェクト」を担当し、2016年1月から同じプロジェクトの第2段階として再びチュニジアで活動しています。





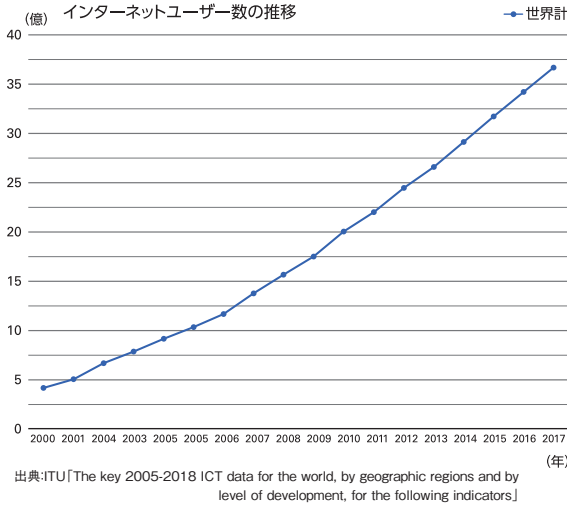
強靱じんなインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る

質の高いインフラ

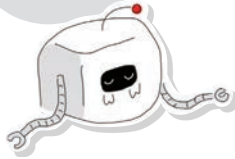
私たちの生活は、さまざまなものによって支えられています。鉄道やバスなどの交通、学校や病院などの公益施設、電力などのエネルギーや安全な水を供給する施設、インターネットなどの情報通信——こうした経済活動に必要なものをインフラ（インフラストラクチャー）といいます。

多くの開発途上国はインフラが未整備なために経済的な自立が困難な上、社会サービスを受けられず、貧困層の増加や社会不安の高まりにつながっています。ゴール9では、国の成長を支える質の高いインフラを整え、すべての人が快適で安全な生活を送れるよう目指しています。

新たなインフラ インターネット インターネットユーザー数は右肩上がり



ネットにしか載っていない情報ってあるよね



ネットへのアクセスがあり使いこなせる人と、そうでない人の格差はどうしたら埋まるだろう



調べてみよう、考えてみよう

Q1 私たちの日常生活を支えるインフラには、どんなものがあるだろう？身の回りに目を向けて、調べてみよう。

Q2 新しいインフラの一つにインターネットがあります。日本のインターネットの普及率は世界で9番目に高いです。何%ぐらいだと思いますか？

地下鉄が通じて意識も変化

2017年9月10日現在

インドの発展と交通渋滞

インドはここ数年で大きく経済成長し、自動車を購入できる人々も増えてきました。一方で、交通渋滞や、それに伴う大気汚染や騒音などが大きな問題となっています。自動車やバイクのかわりに、デリー地下鉄を利用する人が増えれば、これらの問題の改善にもつながります。

粘り強く伝える

例えば、日本では工事をするのにヘルメットや靴など安全装備を着用することが当たり前ですが、インドでは必ずしもそういった文化は根付いていません。そうした中で、日本の安全意識を伝えることに苦労しています。共通の理解を得るために、現場の若い作業員など全ての人とできる限りコミュニケーションをとるようにしています。怒るとへそを曲げてしまうこともあるため、怒らずニコニコ話しかけることが、インドで仕事をするコツだと感じています。

「時間通り」

「快適」「安全」

人々が地下鉄を使うようになり、交通事情が大きく変わりました。列車が時間通りに来ないことが当たり前だったインドで、日本の技術を取り入れたデリー地下鉄は、「時間通り」



工事現場では事故が起きないように細心の注意を払います

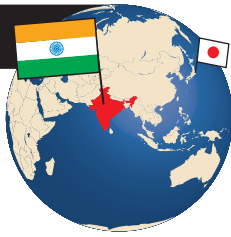


アディテヤさん

(7歳・小学3年生)



インド



- 国名 インド
- 面積 328万7469km²(日本の8.7倍弱)
- 人口 約13億3918万人(2017年、世界銀行)
- 首都 ニューデリー
- 民族 インド・アーリア族、ドラビダ族、モンゴロイド族など
- 言語 公用語はヒンディー語、準公用語は英語、ほかに憲法で公認されている州の言語が21
- 宗教 ヒンズー教(約80%)、イスラム教(約14%)、キリスト教、シーク教、仏教など
- 時差 3時間半(日本が進んでいる)



ニューデリーの人々の足となった「デリー地下鉄」。列車の到着を列に並んで待つようになりました

で「快適」で「安全」に運行され、今ではなんと、総延長 300 km 強、1 日約 300 万人が利用しています。女性専用車両が設置され、女性も安心して利用できるため、女性の社会進出にも大きく

貢献しています。また、これまで列に並ぶという習慣があまりなかったインドの人々が列に並ぶ場面もあり、地下鉄を通じて人々の意識改革にもつながっていると感じています。



ニューデリーを走る地下鉄



先頭車両は「女性専用 (Women Only)」です

JICA 地下鉄専門家 鶴丸雅徳さん

6年前まで地下鉄の専門家としてブルガリアやトルコで仕事をしていました。その後、インドの首都デリーで地下鉄が安全で確実に走るように、技術的なアドバイスをしています。設計者が作る書類に間違いがないかを確認して、より安全な構造になるように設計図を修正したり、工事現場に足を運び、設計どおりに工事が行われているか、作業員が安全に仕事をしているか確認したりもしています。



ヒンディー語 **ナマステ** こんにちは



夢

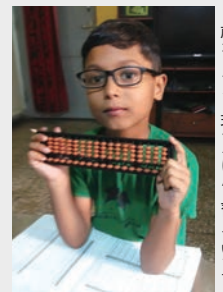
将来は、算数を頑張って、数学で大学にいて、大学でクリケットをやって、国を代表するようなクリケット選手になりたいです。え？ 数学者？……うーん、それも悪くないけど……やっぱり僕はクリケットです！ ※野球の原形ともいわれるクリケットはイギリス発祥のスポーツです。日本ではあまりなじみがありませんが、インドやオーストラリアなどイギリスと関係が深い国では盛んです。

家族

僕は一人っ子です。ママは普段は優しいけど、僕が悪いことをするとよく怒ります。すっごく怖いんです。パパは毎日夜遅くまで働いてるから、あんまり一緒に遊ぶ時間がないです。

勉強・学校

学校はとっても楽しいです！ 算数が得意です。4歳からインド式そろばんを習っていて、全国の2年生が参加する算数の大会で1番を取りました。金メダルを取ったときが、今までで一番うれしかったです。他の大会でも、ほら、こんなにたくさんメダルをもらったの。授業は全部英語です。学校の宿題が多くて、毎日3時間は勉強しています。



4歳からインド式そろばんを習っています



■金田瑞希さん……小学生のころにテレビでアフリカの子どもの生活を描いた番組を見て「世界のみんなが、自分のいいところを生かしながら、もっと幸せになれるのにな」という思いを持ったことがきっかけで、今の仕事を選びました。最近見た映画で一番面白かったのは、インド映画「きつと、うまくいく」。インドの映画は歌ったり踊ったりしていて、とても楽しいです。JICA職員。2017年8月、インド事務所に配属。

(2017年9月3日現在)